

香川大学教育学部からの出前講座⑧（3年）

を実施しました

11月15日、香川大学教育学部から坂井聡先生をお招きし、「障害があるとはどういうことなのか」というテーマで、教育創造コースの3年生にご講義をいただきました。

坂井先生からは、様々な問いかけがありました。

香川大学バリアフリー支援室には、年間どれくらいの相談があると思いますか？

障害のある子どもが、別の学校、別の教室で教育を受けることは当たり前ですか？

自立って何でしょう？
皆さんは自分が自立していると思いますか？

どの表記がいいと思いますか？
「障害」「障がい」「障碍」「しょうがい」

多様性があるから社会発展してきたんですよ。



活動の制限や参加の制限を障害ととらえるようになってきています

- ・環境を整えば障害はなくなる
- ・環境を作るのは自分たち
- ・みんなが参加できる環境を作る

同じ景色を見ることができ学校、学級、社会を作る

障害の有無にかかわらず、すべての人が尊厳ある人として認められ、支えられながら、自分らしく生きることのできる環境を作ることが大切だと感じました。

本日は、ためになり、また、心温まるご講義をしてくださり、本当にありがとうございました。

